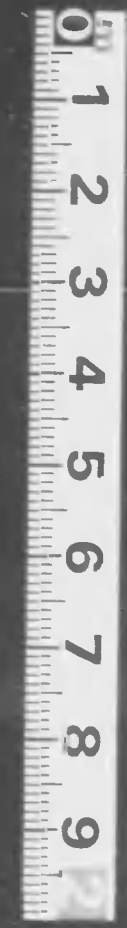


寫眞週報

編輯部報情閣内
一十月一號





海軍大臣 海軍中將 吉田 善吾 (五六歳)
佐賀縣出身、明治卅七年海軍兵學校卒、昭和九年十一月海軍中將同
十一年十二月第二艦隊司令長官、同十二年十二月聯合艦隊司令長官
兼第一艦隊司令長官を経て同十四年八月阿部内閣の海軍大臣、留任



農林大臣 第三三三 島田 俊雄 (六四歳)
島根縣出身、明治卅三年東京帝大法科卒、明治四十五年以來衆議院
議員に當選すること八回、昭和六年大藏内閣の法制局長官、同十一
年三月廣田内閣の農林大臣、同十四年内閣参議、政友會中島派顧問



鐵道大臣 正五三三 松野 鶴平 (五八歳)
熊本縣出身、大正九年以來衆議院議員に當選すること六回、昭和六
年十二月大藏内閣の内務政務次官となつた純粹の政黨人、政友會の
幹事長を二度も勤めた、現在は政友會久原派の常時顧問である



司法大臣 第三三二 木村 尚道 (六二歳)
熊本縣出身、明治卅九年京都帝大法科卒、昭和十三年七月東京控訴
院長、同十四年二月検事總長に補された、在職中に大本營事件、血盟
團、五・一五、明礮事件、美濃部博士の機説問題等があつた



商工大臣 三 藤原 健次郎 (七二歳)
長野縣出身、明治廿二年慶應義塾卒、三井銀行、三井物産を経て王
子製紙に入り、大正九年王子製紙株式會社取締役社長、昭和四年二
月貴族院議員に勅選された、實業界の重鎮で藤原工業大學の創設者



拓務大臣 陸軍大將 第三三二 小磯 國昭 (六一歳)
山形縣出身、明治卅三年陸軍士官學校卒、關東軍參謀長、第五師團
長、朝鮮軍司令官を経て昭和十二年陸軍大將に昇進、同十四年四月
平沼内閣の拓務大臣となつた



文部大臣 第三三一 松浦 健次郎 (六九歳)
愛媛縣出身、明治卅年東京帝大法科卒、大正十三年清浦内閣の文
部次官、京城帝大、九州帝大總長を経て昭和五年貴族院議員に勅選
同十三年二月樺島顧問官、廿一代の文相に仕へた文部卿の長老



逓信大臣 正四三三 勝 正憲 (六二歳)
福岡縣出身、明治卅八年東京帝大法科卒、東京稅務監督局長を最後
に退官、昭和三年以來衆議院議員に當選五回、同四年七月濱口内閣
の大藏参謀官、同九年七月岡田内閣の商工政務次官、民政黨總務



厚生大臣 第四三三 吉田 茂 (五六歳)
大分縣出身、明治四十四年東京帝大法科卒、社會局長官を経て昭和
九年十月岡田内閣の内閣書記官長、同十年五月企畫院の前身内閣調
査局長官となり、同十二年一月貴族院議員に勅選された



内閣書記官長 正三三三 石渡 莊太郎 (五〇歳)
東京府出身、大正五年東京帝大法科卒、直ちに大藏省に入り銀行檢
査官、主稅局長を経て昭和十二年六月近衛内閣の大藏次官となり、
賀屋、池田蔵相を助け、平沼内閣には大藏大臣を勤めた



法制局長官 正三三三 廣瀬 久忠 (五二歳)
山梨縣出身、大正三年東京帝大法科卒、直ちに官界に入り、昭和四
年五月東京市助役就任、その後三重縣知事、社會局長官を経て昭和
十二年近衛内閣内務次官、同十四年一月平沼内閣の厚生大臣となる



企畫院總裁 正四三三 竹内 可吉 (五二歳)
鹿児島縣出身、大正四年東京帝大經濟科卒、商工省入りして廣田内
閣のとき小川商相の下で次官を勤め、昭和十三年六月燃料局新設と
ともに初代長官となり、物價局長を最後に退官してゐた



浅間丸にイギリス船客拉致事件

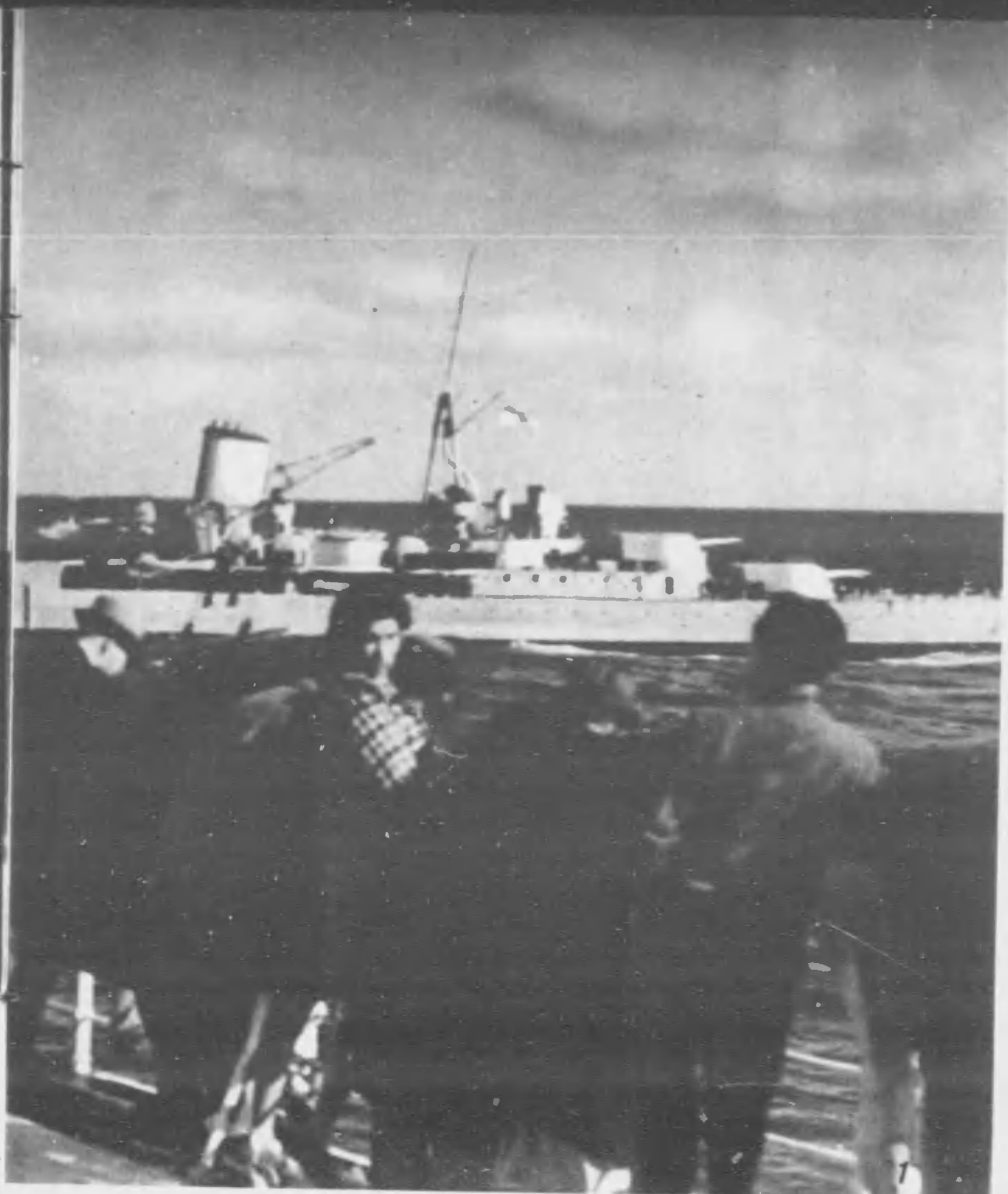
一月廿一日午後一時近くホノルルから横濱へ向け歸航中のわが郵船浅間丸(一六、九七五トン)が千葉県野島沖三十五カイリの洋上にさしかかった際突如二本煙突の英國巡洋艦が現はれて同船に停船を命じた。浅間丸の停船を確認した英國海軍人は武装物々しく直ちに内火艇で同船に近づき約一時間半に亘

つて船内を臨検の後ドイツ人船客九十一名中廿一名の下船を命じ、これを英艦に従つて来た運送船に移乗させて沖合へ姿を消して行つた。日本の山々が指呼の間に望める東京湾頭でのこの英巡洋艦のドイツ人拉致事件は国際法や海賊法規に照して果して正當なものであるだらうか。(讀物頁参照)

- 1 浅間丸の右舷側に横付けした英内火艇を上下下船客とドイツ人船客を拉致する英水兵、前方は英巡洋艦
- 2 浅間丸に停船を命ずる英巡洋艦
- 3 浅間丸に乗込んだ英艦の英國水兵、帽子に響かされてある船の艦名は全部隠蔽されてある
- 4 ドイツ人船客を内火艇で拉致する英水兵



東京海軍新聞社



廬州を守る



⇒ 切るやうな朔風をくつと、鉄剣の切先をこらへて歩哨の兩眼は廣漠の彼方をにらんでほろろと廬州奪還を目指す敵はいつ彼方の野に現はれるか知れないのだ

⇒ 敵襲の危険にかゝはらず城内の復興は勢ひ城外にもあふれ出る。わが警備の力を信じてか城外にも支那住民が大部ふえた。あたりの荒涼たる風景の中に母子のやさらかな生活が妙にそくはぬ氣さへ起させる



撮影 鈴木 實



⇧ 事變前には一人もなかつた日本人が既に二百人もこの町にやつてきて、色々な方面に活動を始め、支那家庭の軒にはたたく日丸が旅行者の眼にみえる

⇧ 明教寺といふ名刹には唯一人の日本人僧侶が佛に和平を祈るとともに支那人子弟を集めて教育に力を注いでいる 左上

⇧ 縣警署の警士たちは治安維持の勤務のかたはら日國民衆に對する啓蒙宣傳に真面目な努力をつけてゐる 左中

⇧ 地方の主要産物である米は穀類もすんだ年末から正月にかけて四方八方から廬州の町に集まる。これを賣つて正月の用意に何を賣よであらう 左下



廬州 かつての漢口攻略戦にわが作戦の重要基地として報道された安徽省合肥縣の首都廬州の町はその後どうなつたであらうか、こゝを守るわが將兵はいかに戦つてゐるであらうか

廬州は淮南線（蕪湖の對岸裕溪口から北へ約百二十キロ）の北端に位し、廣漠たる中支那平原の豊富な物資の集散地として古くから榮え、東洋史の上でも中原に覇を唱へんとしたものは必ずこゝをわらつたものであつた

一昨年五月占領以來、殊に武漢作戦終了後わが軍は絶えまなく襲撃を繰り返す敵と戦ひながら鋭意廬州の復興建設に力をつくしてきたがその努力の甲斐は最近に至つてやうやく著しく安徽平原江北地區の中心都市としての面目を取戻しつつある

まづ縣公署（縣廳）の復活、縣警署の再建は軍の警備を援けて城内の治安を保つてゐるので復歸した支那住民たちと勇敢にも來住した日本人とによつて經濟建設は日に／＼めざましく行はれ、同地方の主要産物である米、棉等の集散も成績よく、あの町では米も棉も安心して高く





買ったつてもらへるといふ噂を傳へ聞いて数十里の遠路地からも危険な敵艦の中をくぐつて廣州へ廣州へ一輪車を押し、天祥で撥つて米や棉を運んでくる百姓たちの列が毎日のやうに城外につづく有様である。

しかし、このたのしい事實に敢行して、復讐の廣州奪還を目指す敵艦隊の襲撃は日に激しく、兵力の少ないわが艦隊が幾十倍の敵を向ふに廻してこれを討伐するために如何に苦闘をつけてゐることか。昨年秋には富時の市川部隊が戦死し、一月四日にはこのあつたをうけ九三浦部隊長等が又も討伐戦に壯烈な戦死を遂げたのをみてもわが將兵の勞苦は切に偲ばれるであらう。

↑ 小學校は早くも西校開設され、子供たちは兵隊さんに日本語を教へてもらひ、遊んでももらふ。内地で先生たつた兵隊さんは新政府制定の日本語讀本がわづかしかないので、これを體寫版で刷つて子供たちに與へ一人々々手をとらばかりにやさしく熱心に教へてゐる。

支那事態處理に二段階を劃する支那新中央政府の運動は、一月二十三日から開始され、はるる青島會議の結果、いよいよ軌道に乗り、一週新中央政府の成立に向つて進歩することになりきつた。

汪精衛氏の和平運動

そも、この新中央政府運動は汪精衛氏を中心とする和平派運動が大なる力となるのである。その歴史的な背景を簡単に述べて置くと、汪氏は、蒋介石の容共排日論に對し、日本との和平を以て容れられず、決然重慶を離れ、河内にたつた。これは昭和十三年十月十八日のことである。そして時を同じうして發せられた日支關係に関する汪精衛首相談話に、河内で反共和平の第一次聲明を發した。



時局の動き

支那新中央政府の成立

日本の支援決す

一方、これに對する日本の態度はどうかといひますと、汪精衛氏の和平運動、新中央政府の成立を授けて置くことは、勿論我々日本の方針ではあり、いふ、日華協定に於て、我々の政府は現地に對する建設に於て、建設の結果、その活動方向は大體密着のものと見られる所である。汪氏側の新中央政府の成立も積極的に接して、いかに好ましい一歩か、一月八日、内閣書記官長を以て、密着に今後ある努力を期す、一、支那新中央政府の成立を支援し、二、支那新中央政府の成立に對し、密着の接をして、三、汪氏側も、密着の接をして、四、密着の接をして、五、密着の接をして、六、密着の接をして、七、密着の接をして、八、密着の接をして、九、密着の接をして、十、密着の接をして、十一、密着の接をして、十二、密着の接をして、十三、密着の接をして、十四、密着の接をして、十五、密着の接をして、十六、密着の接をして、十七、密着の接をして、十八、密着の接をして、十九、密着の接をして、二十、密着の接をして、二十一、密着の接をして、二十二、密着の接をして、二十三、密着の接をして、二十四、密着の接をして、二十五、密着の接をして、二十六、密着の接をして、二十七、密着の接をして、二十八、密着の接をして、二十九、密着の接をして、三十、密着の接をして、三十一、密着の接をして、三十二、密着の接をして、三十三、密着の接をして、三十四、密着の接をして、三十五、密着の接をして、三十六、密着の接をして、三十七、密着の接をして、三十八、密着の接をして、三十九、密着の接をして、四十、密着の接をして、四十一、密着の接をして、四十二、密着の接をして、四十三、密着の接をして、四十四、密着の接をして、四十五、密着の接をして、四十六、密着の接をして、四十七、密着の接をして、四十八、密着の接をして、四十九、密着の接をして、五十、密着の接をして、五十一、密着の接をして、五十二、密着の接をして、五十三、密着の接をして、五十四、密着の接をして、五十五、密着の接をして、五十六、密着の接をして、五十七、密着の接をして、五十八、密着の接をして、五十九、密着の接をして、六十、密着の接をして、六十一、密着の接をして、六十二、密着の接をして、六十三、密着の接をして、六十四、密着の接をして、六十五、密着の接をして、六十六、密着の接をして、六十七、密着の接をして、六十八、密着の接をして、六十九、密着の接をして、七十、密着の接をして、七十一、密着の接をして、七十二、密着の接をして、七十三、密着の接をして、七十四、密着の接をして、七十五、密着の接をして、七十六、密着の接をして、七十七、密着の接をして、七十八、密着の接をして、七十九、密着の接をして、八十、密着の接をして、八十一、密着の接をして、八十二、密着の接をして、八十三、密着の接をして、八十四、密着の接をして、八十五、密着の接をして、八十六、密着の接をして、八十七、密着の接をして、八十八、密着の接をして、八十九、密着の接をして、九十、密着の接をして、九十一、密着の接をして、九十二、密着の接をして、九十三、密着の接をして、九十四、密着の接をして、九十五、密着の接をして、九十六、密着の接をして、九十七、密着の接をして、九十八、密着の接をして、九十九、密着の接をして、一百、密着の接をして、

事變處理と國民の感情

正式の中出たあつたので、一、對し、早中央政府を樹立して、二、對し、今、青島會議を召集、三、對し、汪精衛氏談話に、蒙古代表團を青島會議に、四、對し、汪精衛氏の和平運動、五、對し、汪精衛氏の和平運動、六、對し、汪精衛氏の和平運動、七、對し、汪精衛氏の和平運動、八、對し、汪精衛氏の和平運動、九、對し、汪精衛氏の和平運動、十、對し、汪精衛氏の和平運動、十一、對し、汪精衛氏の和平運動、十二、對し、汪精衛氏の和平運動、十三、對し、汪精衛氏の和平運動、十四、對し、汪精衛氏の和平運動、十五、對し、汪精衛氏の和平運動、十六、對し、汪精衛氏の和平運動、十七、對し、汪精衛氏の和平運動、十八、對し、汪精衛氏の和平運動、十九、對し、汪精衛氏の和平運動、二十、對し、汪精衛氏の和平運動、二十一、對し、汪精衛氏の和平運動、二十二、對し、汪精衛氏の和平運動、二十三、對し、汪精衛氏の和平運動、二十四、對し、汪精衛氏の和平運動、二十五、對し、汪精衛氏の和平運動、二十六、對し、汪精衛氏の和平運動、二十七、對し、汪精衛氏の和平運動、二十八、對し、汪精衛氏の和平運動、二十九、對し、汪精衛氏の和平運動、三十、對し、汪精衛氏の和平運動、三十一、對し、汪精衛氏の和平運動、三十二、對し、汪精衛氏の和平運動、三十三、對し、汪精衛氏の和平運動、三十四、對し、汪精衛氏の和平運動、三十五、對し、汪精衛氏の和平運動、三十六、對し、汪精衛氏の和平運動、三十七、對し、汪精衛氏の和平運動、三十八、對し、汪精衛氏の和平運動、三十九、對し、汪精衛氏の和平運動、四十、對し、汪精衛氏の和平運動、四十一、對し、汪精衛氏の和平運動、四十二、對し、汪精衛氏の和平運動、四十三、對し、汪精衛氏の和平運動、四十四、對し、汪精衛氏の和平運動、四十五、對し、汪精衛氏の和平運動、四十六、對し、汪精衛氏の和平運動、四十七、對し、汪精衛氏の和平運動、四十八、對し、汪精衛氏の和平運動、四十九、對し、汪精衛氏の和平運動、五十、對し、汪精衛氏の和平運動、五十一、對し、汪精衛氏の和平運動、五十二、對し、汪精衛氏の和平運動、五十三、對し、汪精衛氏の和平運動、五十四、對し、汪精衛氏の和平運動、五十五、對し、汪精衛氏の和平運動、五十六、對し、汪精衛氏の和平運動、五十七、對し、汪精衛氏の和平運動、五十八、對し、汪精衛氏の和平運動、五十九、對し、汪精衛氏の和平運動、六十、對し、汪精衛氏の和平運動、六十一、對し、汪精衛氏の和平運動、六十二、對し、汪精衛氏の和平運動、六十三、對し、汪精衛氏の和平運動、六十四、對し、汪精衛氏の和平運動、六十五、對し、汪精衛氏の和平運動、六十六、對し、汪精衛氏の和平運動、六十七、對し、汪精衛氏の和平運動、六十八、對し、汪精衛氏の和平運動、六十九、對し、汪精衛氏の和平運動、七十、對し、汪精衛氏の和平運動、七十一、對し、汪精衛氏の和平運動、七十二、對し、汪精衛氏の和平運動、七十三、對し、汪精衛氏の和平運動、七十四、對し、汪精衛氏の和平運動、七十五、對し、汪精衛氏の和平運動、七十六、對し、汪精衛氏の和平運動、七十七、對し、汪精衛氏の和平運動、七十八、對し、汪精衛氏の和平運動、七十九、對し、汪精衛氏の和平運動、八十、對し、汪精衛氏の和平運動、八十一、對し、汪精衛氏の和平運動、八十二、對し、汪精衛氏の和平運動、八十三、對し、汪精衛氏の和平運動、八十四、對し、汪精衛氏の和平運動、八十五、對し、汪精衛氏の和平運動、八十六、對し、汪精衛氏の和平運動、八十七、對し、汪精衛氏の和平運動、八十八、對し、汪精衛氏の和平運動、八十九、對し、汪精衛氏の和平運動、九十、對し、汪精衛氏の和平運動、九十一、對し、汪精衛氏の和平運動、九十二、對し、汪精衛氏の和平運動、九十三、對し、汪精衛氏の和平運動、九十四、對し、汪精衛氏の和平運動、九十五、對し、汪精衛氏の和平運動、九十六、對し、汪精衛氏の和平運動、九十七、對し、汪精衛氏の和平運動、九十八、對し、汪精衛氏の和平運動、九十九、對し、汪精衛氏の和平運動、一百、對し、汪精衛氏の和平運動、

週間日誌

皇太子様の主管教授決定

陽春四月の新學期が、皇太子院へ御降臨遊覧される皇太子様の主管教授は、同院教授山幹氏が決定されました。

英艦郵船「淡田丸」を臨檢

英艦郵船「淡田丸」が、青島沖に二十五日の早朝、英領海に侵入したと報じられ、英領海を航行する船舶に對する調査のため、英艦「ヘンリー」が、淡田丸を臨檢した。淡田丸は、調査の結果、航行中に異常な状況は認められず、英領海を航行する船舶としての資格は認められた。淡田丸は、同日午後、青島を離れ、渤海を航行する。淡田丸の乗組員は、調査の結果、航行中に異常な状況は認められず、英領海を航行する船舶としての資格は認められた。

米買収高増加

昭和十四年の内地米買収高は、六千八百九十九萬七千七百六十三石、昨十三年より百二十二萬八千四百一十石増加と農林省が發表された。

青島會議再開

青島會議は、一月二十六日、汪精衛氏、王寵惠氏、李頓氏、三氏の會同の下に青島會議再開された。青島會議は、一月二十六日、汪精衛氏、王寵惠氏、李頓氏、三氏の會同の下に青島會議再開された。青島會議は、一月二十六日、汪精衛氏、王寵惠氏、李頓氏、三氏の會同の下に青島會議再開された。

その中、汪氏は、和平派運動の中心となる。その歴史的な背景を簡単に述べて置くと、汪氏は、蒋介石の容共排日論に對し、日本との和平を以て容れられず、決然重慶を離れ、河内にたつた。これは昭和十三年十月十八日のことである。そして時を同じうして發せられた日支關係に関する汪精衛首相談話に、河内で反共和平の第一次聲明を發した。

正式の中出たあつたので、一、對し、早中央政府を樹立して、二、對し、今、青島會議を召集、三、對し、汪精衛氏談話に、蒙古代表團を青島會議に、四、對し、汪精衛氏の和平運動、五、對し、汪精衛氏の和平運動、六、對し、汪精衛氏の和平運動、七、對し、汪精衛氏の和平運動、八、對し、汪精衛氏の和平運動、九、對し、汪精衛氏の和平運動、十、對し、汪精衛氏の和平運動、十一、對し、汪精衛氏の和平運動、十二、對し、汪精衛氏の和平運動、十三、對し、汪精衛氏の和平運動、十四、對し、汪精衛氏の和平運動、十五、對し、汪精衛氏の和平運動、十六、對し、汪精衛氏の和平運動、十七、對し、汪精衛氏の和平運動、十八、對し、汪精衛氏の和平運動、十九、對し、汪精衛氏の和平運動、二十、對し、汪精衛氏の和平運動、二十一、對し、汪精衛氏の和平運動、二十二、對し、汪精衛氏の和平運動、二十三、對し、汪精衛氏の和平運動、二十四、對し、汪精衛氏の和平運動、二十五、對し、汪精衛氏の和平運動、二十六、對し、汪精衛氏の和平運動、二十七、對し、汪精衛氏の和平運動、二十八、對し、汪精衛氏の和平運動、二十九、對し、汪精衛氏の和平運動、三十、對し、汪精衛氏の和平運動、三十一、對し、汪精衛氏の和平運動、三十二、對し、汪精衛氏の和平運動、三十三、對し、汪精衛氏の和平運動、三十四、對し、汪精衛氏の和平運動、三十五、對し、汪精衛氏の和平運動、三十六、對し、汪精衛氏の和平運動、三十七、對し、汪精衛氏の和平運動、三十八、對し、汪精衛氏の和平運動、三十九、對し、汪精衛氏の和平運動、四十、對し、汪精衛氏の和平運動、四十一、對し、汪精衛氏の和平運動、四十二、對し、汪精衛氏の和平運動、四十三、對し、汪精衛氏の和平運動、四十四、對し、汪精衛氏の和平運動、四十五、對し、汪精衛氏の和平運動、四十六、對し、汪精衛氏の和平運動、四十七、對し、汪精衛氏の和平運動、四十八、對し、汪精衛氏の和平運動、四十九、對し、汪精衛氏の和平運動、五十、對し、汪精衛氏の和平運動、五十一、對し、汪精衛氏の和平運動、五十二、對し、汪精衛氏の和平運動、五十三、對し、汪精衛氏の和平運動、五十四、對し、汪精衛氏の和平運動、五十五、對し、汪精衛氏の和平運動、五十六、對し、汪精衛氏の和平運動、五十七、對し、汪精衛氏の和平運動、五十八、對し、汪精衛氏の和平運動、五十九、對し、汪精衛氏の和平運動、六十、對し、汪精衛氏の和平運動、六十一、對し、汪精衛氏の和平運動、六十二、對し、汪精衛氏の和平運動、六十三、對し、汪精衛氏の和平運動、六十四、對し、汪精衛氏の和平運動、六十五、對し、汪精衛氏の和平運動、六十六、對し、汪精衛氏の和平運動、六十七、對し、汪精衛氏の和平運動、六十八、對し、汪精衛氏の和平運動、六十九、對し、汪精衛氏の和平運動、七十、對し、汪精衛氏の和平運動、七十一、對し、汪精衛氏の和平運動、七十二、對し、汪精衛氏の和平運動、七十三、對し、汪精衛氏の和平運動、七十四、對し、汪精衛氏の和平運動、七十五、對し、汪精衛氏の和平運動、七十六、對し、汪精衛氏の和平運動、七十七、對し、汪精衛氏の和平運動、七十八、對し、汪精衛氏の和平運動、七十九、對し、汪精衛氏の和平運動、八十、對し、汪精衛氏の和平運動、八十一、對し、汪精衛氏の和平運動、八十二、對し、汪精衛氏の和平運動、八十三、對し、汪精衛氏の和平運動、八十四、對し、汪精衛氏の和平運動、八十五、對し、汪精衛氏の和平運動、八十六、對し、汪精衛氏の和平運動、八十七、對し、汪精衛氏の和平運動、八十八、對し、汪精衛氏の和平運動、八十九、對し、汪精衛氏の和平運動、九十、對し、汪精衛氏の和平運動、九十一、對し、汪精衛氏の和平運動、九十二、對し、汪精衛氏の和平運動、九十三、對し、汪精衛氏の和平運動、九十四、對し、汪精衛氏の和平運動、九十五、對し、汪精衛氏の和平運動、九十六、對し、汪精衛氏の和平運動、九十七、對し、汪精衛氏の和平運動、九十八、對し、汪精衛氏の和平運動、九十九、對し、汪精衛氏の和平運動、一百、對し、汪精衛氏の和平運動、

は火大の岡静
へ興復もく早

焦土にちうす銃の後心



静岡の岡岡 月夜静の
焦土の静岡、一大破壊下の
静岡を、その復興を、東海
の復興はじつとみまもる

海外小説

ロンドン夜話

ロンドン夜話の筆名はロンドン在住の作家である。この小説は、ロンドンで生活する日本人の生活を描いたものである。主人公は、ロンドンで生活する日本人の一人である。彼は、ロンドンで生活する日本人の生活を描いたものである。彼は、ロンドンで生活する日本人の生活を描いたものである。

黒ん坊の妖變

黒ん坊の妖變の筆名はロンドン在住の作家である。この小説は、ロンドンで生活する日本人の生活を描いたものである。主人公は、ロンドンで生活する日本人の一人である。彼は、ロンドンで生活する日本人の生活を描いたものである。彼は、ロンドンで生活する日本人の生活を描いたものである。

野蠻人と近代戦

野蠻人と近代戦の筆名はロンドン在住の作家である。この小説は、ロンドンで生活する日本人の生活を描いたものである。主人公は、ロンドンで生活する日本人の一人である。彼は、ロンドンで生活する日本人の生活を描いたものである。彼は、ロンドンで生活する日本人の生活を描いたものである。

宮内省

週報

答問

宮内省の週報は、宮内省の活動やニュースを伝えるための週刊誌である。この週報は、宮内省の活動やニュースを伝えるための週刊誌である。この週報は、宮内省の活動やニュースを伝えるための週刊誌である。

宮内省の週報は、宮内省の活動やニュースを伝えるための週刊誌である。この週報は、宮内省の活動やニュースを伝えるための週刊誌である。この週報は、宮内省の活動やニュースを伝えるための週刊誌である。

銃後

天明勇士のために
憩ひの家を捧げる

天明勇士のために憩ひの家を捧げるの筆名は、天明勇士のために憩ひの家を捧げるの筆名である。この小説は、天明勇士のために憩ひの家を捧げるの筆名である。この小説は、天明勇士のために憩ひの家を捧げるの筆名である。

天明勇士のために憩ひの家を捧げるの筆名は、天明勇士のために憩ひの家を捧げるの筆名である。この小説は、天明勇士のために憩ひの家を捧げるの筆名である。この小説は、天明勇士のために憩ひの家を捧げるの筆名である。

天明勇士のために憩ひの家を捧げるの筆名は、天明勇士のために憩ひの家を捧げるの筆名である。この小説は、天明勇士のために憩ひの家を捧げるの筆名である。この小説は、天明勇士のために憩ひの家を捧げるの筆名である。

天明勇士のために憩ひの家を捧げるの筆名は、天明勇士のために憩ひの家を捧げるの筆名である。この小説は、天明勇士のために憩ひの家を捧げるの筆名である。この小説は、天明勇士のために憩ひの家を捧げるの筆名である。

宮内省週報問答
投稿募集
○宮内省の週報に投稿することでも買
取って下さい。なまぐさ
○宮内省の週報に投稿することでも買
取って下さい。なまぐさ

宮内省週報問答
投稿募集
○宮内省の週報に投稿することでも買
取って下さい。なまぐさ
○宮内省の週報に投稿することでも買
取って下さい。なまぐさ



一月十五日、静岡市は未曾有の大火に見舞はれた。時をうつつさす駆けつけた警防隊、軍隊等の心死の努力にもかかわらず、烈風にあふられた大火は月餘にわたつて一滴の雨も見ず激進し切つた全市に燃えひろがり、延焼實に十三時間半、静岡市の心臓部五千二百餘戸を焼失して、由緒を誇る駿府の舊城下町静岡を一夜にして焦土と化し、産業都市静岡の経済機構を忽ちにして潰滅せしめたのであつた『静岡を救へ』 寒風吹き荒ぶ焼野原に食べるものもなく、着るものもなく震へてゐるであらう三萬七千の罹災者を思つて全商の同情は轟然と集つた。海軍は直ちに軍艦に救護資材を満載して急行せしめ、又一艘から米が、鹽詰が、毛布が、タオルが、木材が、トタンが、凡ゆる慰問物資が凡ゆる機噐を動員して静岡に到着しつゝある。

この同情にこたへて静岡市民も奮然として起ち上つた。禍ひを轉じて福としより、焦土の中からより立派な静岡を組織的に科學的に戦時下物資統制の不自由を克服して建設しよう。惨たる廢墟に全市民はいま雄々しくも又悲壯な響きをたて、復興の鐘を振ひはじめた。慰問物資は續々と到着してゐる。しかし、敵空に家を失つた三萬七千の罹災市民を救ふにはまだ十分とはいへない。殊に戦線にある勇士には罹災家族の心配をさせてはならない。もつと同情の手を躊躇さずさし伸べて静岡市民を救はうではないか

焦土に立ち上る復興の鐘



1 備前市の復興工事で東海道線も開通した。復興資材が静岡野に續々と到着する

2 焼野原にはや新静岡都市計劃の測量がはじまつた

3 白い會服姿も凛々しく愛國婦人會員は炊き出しに大奮

4 電信電話ももうほとんど復興した

5 戦時下の物資統制の不自由も克服して建設の機音は高らかに

6 慰問と激勵の小包みが避難者の立退き先から立退き先に配達され出した

7 全国からの温かい夜具毛布、食糧品等の慰問品が續々と殺到し、その配給には中學生も甲斐々々しく出勤する



8 復興の鐘を鳴らす愛國婦人會員

9 復興資材の到着を待つ人々



⇒ 京浜品川線でハイキング参加者は参加手帳を示して参加章を買ひます

京市民ハイキング

撮影 梅本忠男

東京市民の保健と娯楽のために市
 体力課と日本厚生協会が共同主催で
 紀元二千六百年を期して毎月一回の
 市民厚生ハイキングを行ふこととな
 り、その第一回は「恵方ハイキング」
 と銘打って一月十四日の日曜日に行
 られました

この厚生ハイキングは仕事に疲れ
 た市民が汚れた都会の空から逃れ
 て、軽く気軽に近郊を散策、家族的
 な慰安と休養を求め、明日の活動に
 備へる力を蓄へようといふもので
 す。参加者は汎く一般市民に呼びか
 け、第一回の参加者なども五才から
 七十三才までのあらゆる階級を網羅
 した三百余名の老若男女で、好天に
 恵まれた郊外の日を和気藹々のう
 ちに過しました



⇒ 寒い川風も何のその、お向ひのおばさんや源ちゃん、
 お隣りのおぢいさんとお手てつないで歩けば暖かだ。行
 からよ楽しいハイキング

⇒ 「サア、どうぞ、こちらへ……」羽田飛行場では先づグ
 ラス旅客機に喜びの歓聲を上げ、滑走路の影法師を追
 つてボクもアタシも一人前で飛行機を見學しました



⇒ 寒々と降り注ぐ早春の陽を浴びて
 一家團圓の食卓です。おいしい海苔
 巻やおむすびに飽きたお満さんは
 「ネエお父さん、さつきの大きな飛
 行機には何時乗るのよ」と父の胸へ
 た約束の實行を迫つてゐます。光ち
 ゃんお父さんのお約束はあてになら
 ないよ。笑ひにまきらすお母さ
 んの便乗攻撃は相當辛辣です

⇒ 恵方ハイキングの終點、川崎大師
 に龜軍の武運長久を祈り、全行程六
 キロ一人の落伍者もなく、主催側市
 体力課の村松指導員の挨拶で二月の
 第二回ハイキングを楽しくに散會し
 ました

⇒ 海苔の香がほのかに鼻をつく大師
 河原で都廳を遊けた親と子の朗らか
 な笑ひ、聴てを忘れて遊ぶお父さん
 にぶら下る子供の日本一のお父さん
 です





炭焼奉仕

カ
メ
ラ
の
目
で
と
ら
え
た
画
像



薪を運ぶ子たち 長野県 小山喜太郎
 遠く風吹き荒ぶ冬の信州路で村の児童たちはこ
 んなにも働きます。北佐久郡川邊村山浦小学校の
 上級生は今年も亦冬ごりの用意にストロップ用の
 薪を学校から四キロも離れた御牧ヶ原の厚有林か
 ら運搬してきます。校長先生をはじめとし、かわ
 らい女生徒まで男生徒に負けず元氣よく山坂を運
 んでいきます。

小學生の炭焼 三重県 東 正巳
 三重県北牟婁郡赤羽村は木炭自給自足の建前か
 ら久保村長を指揮者に同村小學生による炭焼を
 行つた。この炭焼部隊は村有林で薪を採り出班
 や運搬班、炭焼班など各分班をきめて木炭の製造
 に従ひ數十俵を生産した。

遺家族の炭焼作り 青森県 愛崎豊福分會
 青森県豊福村は炭の産地であるが、木炭不足の
 折柄、最近注文が殺到して炭焼が間に合はぬ位
 である。そこで愛崎豊福分會は出征軍人遺家族に
 材料を提供して炭焼の製造に當つてゐる。

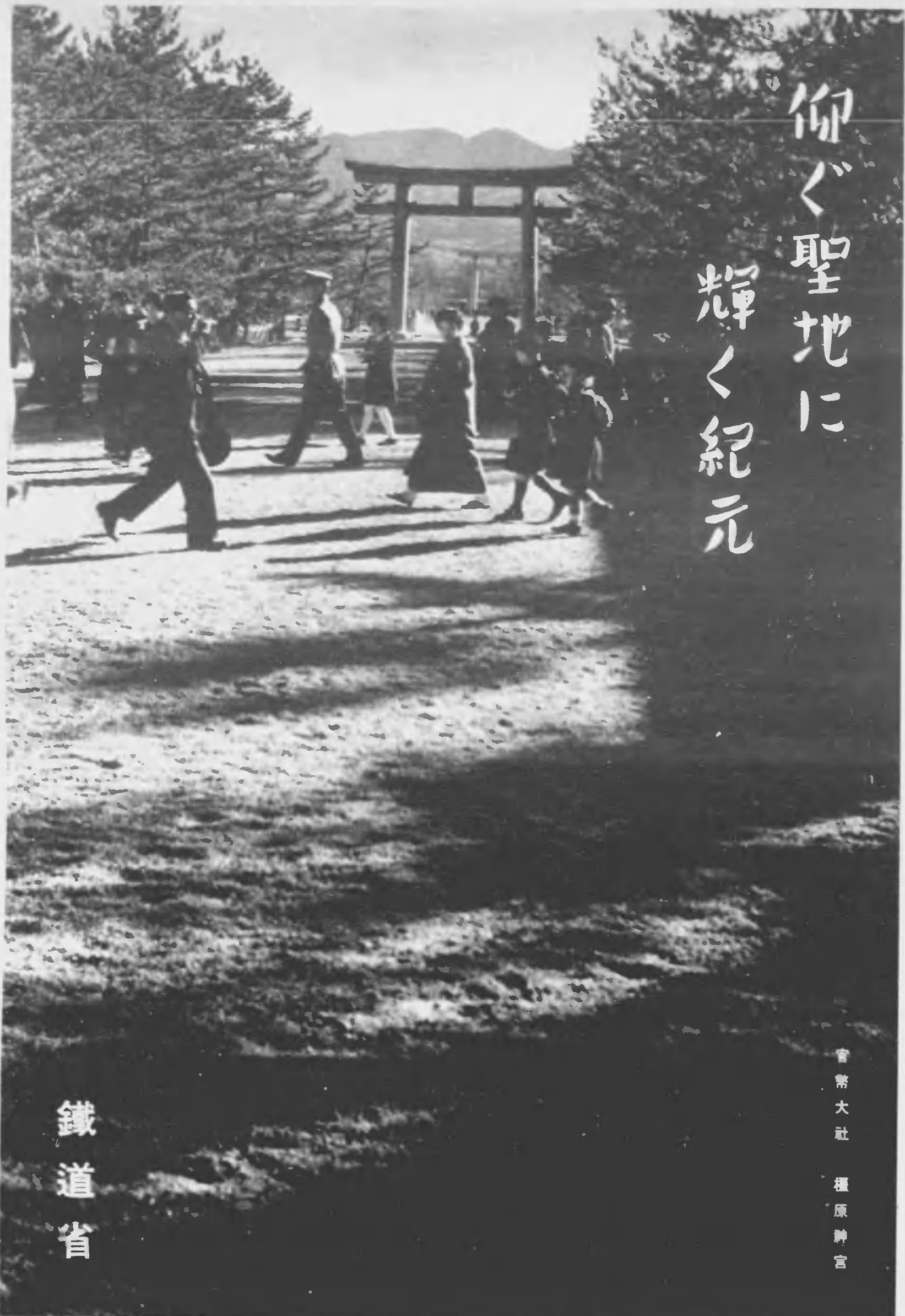
雪と炭の炭焼 鳥取県 河上順治
 「我等の木炭は我等の手で」と鳥取県日光小学校
 は先生の指導で児童の炭焼をはじめた。村の雑木
 林を買い毎日放課後一時間づゝ作業を続ける児童
 は雪に手を凍らせて第一回の炭出しを待つてゐる。

木炭増産に大馬力 大日本青年團
 木炭の不足で消費地は寒さにふるへてゐる。日頃の腕を振ふのはこの時と千葉縣若津郡鎌足村男女青年團員は木炭増産に大馬力をかけてゐる。

この村は丘陵地帯の雑木林に囲まれてゐる關係から、元々炭焼が村民の重要な職業部門であるのでこの青年學校では早くから職業指導の一つとして炭焼作業を行つてゐたが、今はからず木炭不足の聲に男女青年團全員は銃後を護る青年の面目にかけても、寒空に真黒になつて奮闘をつげてゐる。

- 1 先づ焼窯を作ることから炭焼作業は始まる
- 2 炭材として雑木を伐り出す。良い炭が出来さうだぞ!
- 3 素人ではあるが、熱心なものをついて炭の出来は上々、製品は女子青年團員の手で適當の大きさに切る
- 4 出来上つた木炭は早速消費地へどんどん送り出される





仰ぐ聖地に
輝く紀元

官幣大社 権原神社

鐵道省



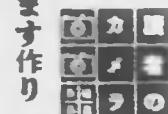
不足肥料の対策

長野市 土屋信一

1 春の肥料が不足しては農作物の増産が出来ぬと不足の肥料を補ふため長野市農会は市内十小學校生徒の協力を求め毎週月曜日に各家庭の木灰の蒐集を行ふことになつた。その第一回として一月十五日、三年生以上の七千名が各自紙や袋に入れて持ち寄つた灰は何んと一千貫に達した。この灰は三月まで横行、一貫貫(價格約六百圓)を集める予定である。

2 灰集めの一方、これは土壌を焼いて活性の加里肥料を造る。地下二尺までは反當り千五百貫の加里肥料が休眠状態のまま放置されてゐる。

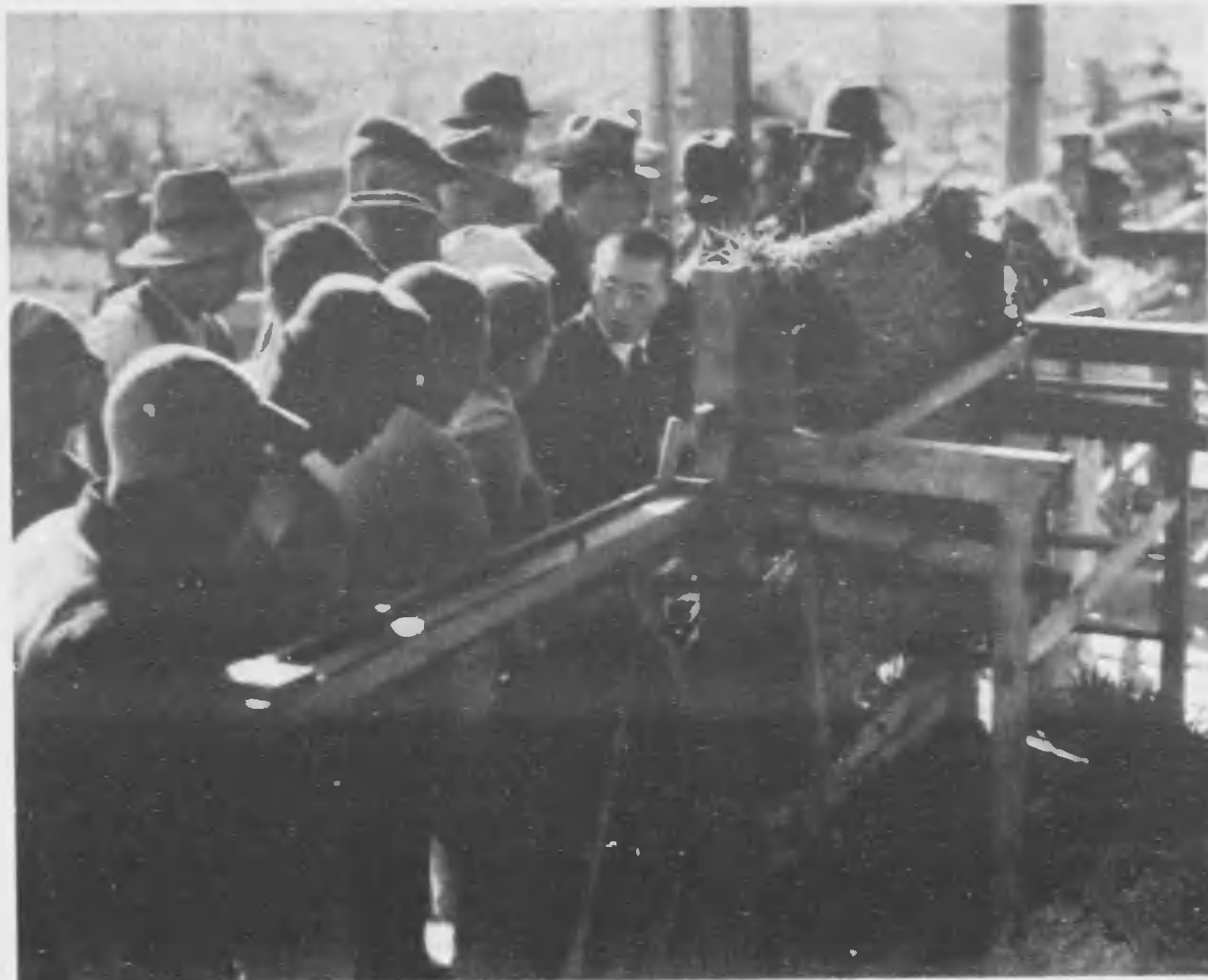
この土壌を焼けば休眠状態は破られて活性の加里肥料が出来ると長野市農会が考えている。この性質と土壌を焼いて肥料を造る實驗を行つた。



出征軍人家族のかまき作り

埼玉縣 時局課

埼玉縣は出征軍人家族の養育期間の副業として各家庭に製豆腐を奨励し、かまき製造を奨励してゐる。写真は町での講習會。



復習室

本號からあなたは何を學んだか?

- 1 現内閣の話ですが、櫻内相、島田通相、石渡蔵相、松浦文相、兒玉拓相といつて誤りはありませんか? (1、2、3、4頁)
 - 2 普通機械化兵器とはどんなものをいひますか? (10頁)
 - 3 手洗丸とは何ですか? (佛具? 鮮魚の名? 藥品? それとも?) (15頁)
 - 4 今年の豫算總額は? (12頁)
 - 5 一月二十一日、わが津間丸を臨検した英海軍巡洋艦乗組の水兵の冠つてゐた帽子には何といふ艦名が記してありましたか? (4頁)
 - 6 静岡の大火の損害は大體どの位に上りますか? (18頁)
 - 7 廣州といふ町はどの邊にありませうか? (7頁)
 - 8 世界一快速の戦車は何といひますか? (10頁)
 - 9 今年發行される公債の豫定額は? (13頁)
 - 10 豆類を米と混炊するにはどうしますか? (14頁)
- 一問十點としてあなたは何點でしたか?

讀者のカメラ 應募規定

- 一、題材 國民精神、活動員をテーマとした報道写真、一枚にても、組写真にても可。
- 二、印畫の大きさ なるべくキヤピナル程度が好まし、紙面に写真説明及び住所姓名明記のこと。
- 三、締切 毎週火曜日。
- 四、賞 金五圓以上の賞金を呈す。
- 五、應募作品は一切返戻せず、また複製写真印畫の版權は常に歸屬す。



★表紙
内閣總理大臣
米内光政(六一歳)
平民首相原敬氏に次いで廣義海軍大將今また岩手縣が生んだ三度目の總理大臣米内光政海軍大將は明治卅四年海軍兵學校卒、聯合艦隊司令長官を経て昭和十二年二月林内閣の海軍大臣、次いで近衛、平沼内閣と組んで三代の海軍大臣をつとめ同十四年軍事會議官に補せられた。

寫真週報(禁轉載)

昭和十五年一月一日印刷發行	編輯部	東京市神田區本町
印刷部	東京市神田區本町	東京市神田區本町
發行部	東京市神田區本町	東京市神田區本町
郵政省 郵政特許第...	東京市神田區本町	東京市神田區本町

